

年	組	番	名前
---	---	---	----

問 1 現状を理解しよう

①核軍拡と軍縮の歴史

次の年表の () に適する語句を、右の解答欄に書きましょう。【知識・技能】

1945	アメリカ、広島・長崎に (①) 投下	① 原爆
1954	アメリカの水爆実験で、(②) が被爆	
1955	ラッセル・アインシュタイン宣言。広島で第 1 回原水爆禁止世界大会	② 第五福竜丸
1962	キューバ危機	
1963	(③) に調印	③ 部分的核実験禁止条約
1967	日本、(④) 表明	
1968	(⑤) に調印	④ 非核三原則
1972	米ソ、SALT I に調印	
1979	米ソ、SALT II に調印。ソ連、アフガニスタンに侵攻	⑤ 核拡散防止条約 (NPT)
1987	米ソ、中距離核戦力 (INF) 全廃条約に調印	
1989	マルタで米ソ首脳会談 (冷戦終結)	
1991	米ソ、(⑥) に調印	⑥ 第 1 次戦略兵器制限交渉 (START I)
1993	米ソ、START II に調印	
1995	核拡散防止条約を無期限延長。中国・フランスが核実験	
1996	(⑦) を採択。国際司法裁判所が「核兵器の使用は、一般的に国際法違反」とする	⑦ 包括的核実験禁止条約 (CTBT)
1998	インド・パキスタンが (⑧) を行う	
2002	米ロ、モスクワ条約に調印	⑧ 核実験
2006	朝鮮民主主義人民共和国が核実験	
2010	米ロ、新 START に調印	
2017	(⑨) 採択 (2021 年発効)	⑨ 核兵器禁止条約
2022	(⑨) 第 1 回締約国会議。「核の傘」に依存するドイツ・ベルギーなどがオブザーバー参加。	

②核兵器禁止条約に対する各国の立場

次の表に、核兵器禁止条約の賛成国と、反対・不参加国の意見をまとめましょう。また、核兵器禁止条約第 1 回締約国会議に、日本、ドイツ、ベルギーなどは、どのように対応したかまとめましょう。【知識・技能】

賛成国	反対・不参加国
核兵器は、非人道兵器であるので禁止すべきである。 核拡散防止条約で核保有国に課された核軍縮交渉が進展していない。	安全保障上、核の抑止力は不可欠である。 核保有国が参加しない限り、条約の実効性は期待できない。 核軍縮は、核保有国の交渉によって段階的に進められるべきである。 核兵器禁止条約第 1 回締約国会議に、「核の傘」に依存するドイツ・ベルギーはオブザーバー参加、日本は不参加。

問2 自分の意見を書いてみよう

日本は、核兵器禁止条約にどのようにかかわるべきか、自分の意見を書きましょう。

【思考力・判断力・表現力】

本誌二次元コードの「様々な意見」も参考にしよう！

問3 見方・考え方を働かせて考えよう

問2で作成した自分の意見を、以下のチェックポイントを参考に直直し、足りないところや気付いたことを書きましょう。

【思考力・判断力・表現力】

●チェックポイント

- 様々な立場の人が納得できるか？（公正）
 - 被爆者やその家族 核保有国（アメリカ、ロシアなど）
 - 核非保有国（メキシコ、オーストリアなど）
 - 「核の傘」に依存する国々（日本、ドイツなど）
- 日本や世界の平和という視点でどうか？（平和）

自分の意見で足りないところ、気づいたこと

●問3はグループワークも可能

- ①クラスでグループを作り、〈①被爆国やその家族〉〈②核保有国アメリカ〉〈③核非保有国オーストリア〉〈④「核の傘」に依存する国、日本〉の立場に分かれる **図1**
- ②それぞれの立場に立って、グループのメンバーの意見について感想を伝えあう

図1

このようなグループを作ろう



- ◎:①被爆者やその家族
- :②核保有国（アメリカ）
- △:③核非保有国（オーストリア）
- ☆:④「核の傘」に依存する国（日本）

グループワークの場合は、友だちの意見を聞いて気付いたことなどを書こう。

問4 自分の意見をまとめよう

日本は、核兵器禁止条約にどのようにかかわるべきか、**問3**を参考にして、自分とは異なる立場の人の合意も得られないか考え、自分の意見を書きましょう。そう考えた根拠や理由も書きましょう。【思考力・判断力・表現力】

自分の意見（根拠・理由も含めて書きましょう）